

6 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	CL 中山 正夫, 吉川 浩行 神戸 和広
		報告日	6/8		
山 域	鈴鹿山脈	山行日	2011/06/04(土)~ 2011/06/05(日)		
山 名	五僧峠-霊仙山-南霊岳				
山行目的	鈴鹿北部縦走 2	コースタイム (天候: 天気図記号)			

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



6/4(土) 晴 06:45 刈谷発→湾岸桑名 IC→ 国道 306 号→鞍掛トンネル→大 君ヶ畑(おじがはた)林道→ 五僧(ごぞう)峠着 9:10 五僧峠発 9:45~:50 位置確認(P656m) 下コルへの降下確認 10:15~:20 休憩(610m) 10:50~:55 休憩(P724m 手前) 11:15 分岐確認(P750m) 11:40~:45 休憩(P746 過ぎ) 12:25~:35 休憩(P794m) 13:05~:15 休憩(P953m) 13:40 谷山通過(P993m) 13:50~14:00 休憩(谷山谷道・ 柏原道合流点) 14:15 9 合目避難小屋着 ~18:00 歌の宴	6/5(日) ガス・曇 03:00 起床 04:05 経塚山へ出発 04:25~:30 霊仙山頂(1084m) 04:40~:50 最高点で今畑道確 認(P1094m) 05:20~:25 休憩(南霊岳付近 1025m) 06:05~:10 休憩(笹峠過ぎ) 06:30 水補給(今畑:お寺あり) 06:40 林道(登山口) 06:50 河内(かわうち)アケン原 ~権現谷林道 07:35~:40 休憩(支谷出合) 08:10~:15 休憩(白谷出合) 08:55 五僧峠着 09:20 峠発-権現谷林道-河内 風穴-彦根 IC-豊田南 IC 12:00 刈谷着
--	---

〈山行報告〉 梅雨の中休みで清しい朝となった 6/4、鈴鹿北部縦走に 3 人は挑んだ。登山口では今回のもうひとつのテーマ「蛭対策」について、各自、虫除け液や蛭忌避剤をたっぷりスプレーした。9:10 まずは吉川さんがトップで 656m を目指し、鉄塔巡視道をたどり急登をつめる。そこから方向を変えコルへ降りていくが、どうも急すぎる。9:45 皆で協議し、GPS で位置を確認し、コルへの巻き道を探すと、古い赤テープがあった。落ち葉でズブズブの道を落ちるように降りていくと、コルにぼちり着いた。ここは読図が難しかった。その後はちょっと切れ落ちた場所もあったが基本的に緩やかな尾根道で、ピークで方向を変える所は協議しつつ進んで、後半は植林と雑木の境の道なので結果迷うことはなかった。合流点に近づくと、稜線上に鹿除けネットが張られていた。14:15 早めの避難小屋着で、中山指導員の歌の指導が始まった。「小鳥の囀り絶える暇なく、ここはいつも楽園よ」と小屋の外では鶯、ホトギス、カッコウも鳴いており歌のとおり山小屋だった。暗くなると早々に就寝した。 6/5(日) 3 時起床。ラーメンで腹ごしらえして、4:05 ガスの中を出発、神戸がトップ 4:25 に頂上着、4:40 最高点から今畑へのはっきりした西南尾根道を前に再び協議して事なきを得た。(すみません地図さかさまに見てました)西南尾根では方向は迷うことないが、石灰岩の踏跡(靴の泥)を見逃すまいと必死だった。やがて近江展望台から急降下し、笹峠を過ぎると植林の道を淡々と進み、やがて 今畑の廃村あとに着く。お寺には、朝も早くからお参りのため地元の中老年、ご老人も！登っていらした。この水は大変おいしかった。すぐに林道に下りると、ここから長い林道歩きとなった。とがった落石を道の脇にどかしながら、約 2 時間で五僧峠に着いた。スパッツを外すと 2 人の靴に蛭が 1 匹づつ

取り付いていたが、被害はなかった。ロングスパッツと薬の対策、効果有りでした。
(吉川さんコメント)各ポイントでの読図と冷静な判断、そして動物的な勘で読図術を養えた事は大変ためになる山行でしたね。(特に 1 日目)
また(見栄えに反して???) 神戸さんの体力も如何なく発揮され、バランスの取れたいいチームだったのでないでしょうか。皆様、大変ご苦労様でした。
(神戸コメント)なかなか印象深い山行でした。読図はおもしろい!



確認
(リーダー)
中
11/06/06
山
作成
(報告者)
神
11/06/06
戸

〈リーダー所見〉今回、テント泊装備の水持参で重く、読図も難しい、しかも長い長い縦走ルートでしたが、3 人がうまく協力できた、また蛭対策も完璧だったと思います。貸切状態のりっぱな山小屋と雄大な景色の中で、山の歌練習会を思いっきりしました。終わってみれば、非常に思い出に残る楽しい山行でした。吉川さん、落石頻繁な権現谷林道の運転、ご苦労様でした。今回のコースは、今後入山困難になっていくと思います。

↑ 霊仙山 山頂 特別出演 ↓